

久米島遺跡分布一覧表

※番号は分布地図の番号と一致する。

番号	遺 跡 名 称	概 要
1	下地原遺跡	貝塚中期 珊瑚石灰岩の台地上と台地の崖下から遺物が採取される。石器類が豊富に採取される
2	下地原洞窟遺跡	更新世人骨、グスク時代の土器・炭化米・銚・鉄斧が出土。保存状況は良好
3	バケーマシ遺跡	貝塚後期 平地のマージ地帯にある特異な尖底を持つ土器が主流。口縁部に有文が僅かに採取される
4	ハンタバル遺跡	貝塚前期 下地原遺跡と同じ稜線上にあり台地と台地下方から前期の土器片と石器が採取されるが少量である
5	下地原貝塚	貝塚後期 砂混じりマージ上にある。くびれ平底が主流
6	ヤージャーガマ遺跡	貝塚後期 発掘済みグスク時代の複合主洞の4つの開口部から土器片など遺物が採取される
7	ナカペーヤ遺物散布地	貝塚前期 珊瑚石灰岩台地下、吹き溜まりの砂地から土器、石器が僅かに採取される
8	北原第3貝塚	貝塚後期 珊瑚礁原の吹き溜まりの砂地にある。くびれ平底が主流。海拔2m余の低地にある
9	長作原遺物散布地	貝塚前期 なだらかな砂丘地で前期、後期の複合であると思える平底、有文土器片貝類が僅かに採取される
10	クイングアグスク遺物散布地	貝塚中期 マージ地帯にある小片の土器と石器が採取される。石器は石斧類が少なく敲打器が多い
11	北原第1貝塚	貝塚後期 発掘済み
12	北原第2貝塚	貝塚後期
13	大原第2貝塚E地点	貝塚後期か採石のためほとんど壊滅状態ペンダント状の石器、土器の小破片が採取された
14	大原第3貝塚	貝塚前・中・後期の複合 なだらかな円錐状の石灰岩丘陵の頂上にあつたがほ場整備のため壊滅状態
15	大原第2貝塚D地点	貝塚後期 リゾートホテルに北接してあり、夜光貝たまりが数カ所に確認される。ホテル造成のため表土層がはぎ取られた状態である
16	大原第2貝塚C地点	貝塚後期 D地点と接しているが僅かに無遺物地帯を挟む
17	大原第2貝塚B地点	貝塚後期 発掘調査済み
18	大原第2貝塚A地点	貝塚後期 以前の採砂のためかなり壊滅を受けていると思われる
19	大原貝塚（県指定史跡）	貝塚時代前期・中期主流の貝塚、指定区に西接する箇所は発掘済み
20	大原東貝塚	貝塚前期・後期 県指定地域から小河川跡を挟んであつた。採砂のため壊滅状態
21	総合グランド北貝塚	貝塚後期 総合グランドに西接しほ場整備地内にある

番号	遺 跡 名 称	概 要
22	清水西貝塚	貝塚後期 清水小学校と総合グラウンドの中間点にある。ほ場整備地内にあるが採砂で大部分が破壊されている
23	清水貝塚	貝塚後期 清水小学校グラウンドと西接する畑地に分布する。グラウンド側は造成のため壊滅した。その時かなりの遺物が廃残土とともに捨てられたという。西方の畑地地域は発掘済み
24	久米島仲泊貝塚	貝塚後期 集落地域にある。試掘が試みられている2枚の文化層があることが確認されている
25	ウルル貝塚	貝塚前期・後期 貝塚は3地点に区分される後期系土器も2タイプあり分布箇所も前期地域を挟んでいる
26	小港遺跡	多和田真淳氏により発見されているが未確認
27	大田辻遺跡	貝塚中期 海拔30m付近にある。大量の石器類が採取されている。中心部はほ場整備で破壊を受けている
28	ヤッチヌガマ遺跡	貝塚後期?グスク? 鍾乳洞内より小破片の土器が採取されるが時期の判断が困難である
29	ミッチン遺物散布地	貝塚中期 舌状に延びた台地上にある小破片の土器と石器が採取される。一部採石のため掘削されているが断面からは明確な包含層は確認できない
30	阿里遺物散布地	貝塚前期・後期 建築工事のため攪乱され包含層の確認ができない
①	具志川城跡	グスク 国指定史跡 グスクの両脇に古集落跡が伝えられる(輸入陶磁器が採取される)。
②	大城チジ	グスク? 緩やかな丘陵の頂上部(4000坪余)を一重の列石が巡らされている
③	本中グスク	グスク 現在の宇江城グスクを築く前にここにグスクを造りかけたとの伝説がある石垣は戦後採石のため持ち出されている
④	フーク嶽	グスク? 海拔202mの独立丘陵の頂上平坦地(500坪ほど)を一重の石垣が巡らされている
⑤	伊敷索城跡	グスク 県指定史跡 珊瑚石灰岩を石材にし野面積みの石垣が残る
31	真謝貝塚	貝塚後期 住宅地造成のため遺跡の範囲をとらえることが困難なほど攪乱されている
32	泊貝塚	
33	謝名堂貝塚	貝塚後期・前期 前期タイプの土器は試掘を試みるが明確な包含層を確認するには至らない
34	スナミの丘遺物散布地	グスクから近世 少量ながら畑地より輸入陶磁器が表面採取される
35	銭田貝塚	貝塚後期 くびれ平底底部を持つ土器が主流。

番号	遺 跡 名 称	概 要
36	アール遺物散布地	貝塚後期? 微細な土器片が表採されるが時期の判断が困難
⑥	登武那覇グスク	グスク 石塁が残るグスク内外から土器や輸入陶磁器が採取される
⑦	クニグスク	グスク 大正から昭和初期まで石塁が残っていたという。輸入陶磁器が表採される
⑧	メンダグスク	グスク 安山岩による石塁と土塁で囲われている。石塁の一部は昭和の初期に近く of 山城池築堤の用材になる
⑨	山玉グスク	グスク 一部に安山岩の石積みが確認される
⑩	塩原グスク	グスク 山頂部を大小の安山岩で二重の石囲が巡らされている
⑪	与那嶺グスク	グスク 海岸に突出した円錐型の丘の頂上部を安山岩で不明瞭ながら二重の石囲いがある
⑫	宇江城グスク	グスク 県指定史跡、海拔310mの山頂を主廓として進入路を多数の防御施設を持つ。主郭部より大量の輸入陶磁器が採取される
⑬	ウーリ御嶽	グスク 近代のため池に一部水没していて全体像がつかみにくい。石積みは確認できないが切岸が要所に施されている
⑭	黒石森グスク	グスク 舌状に延びた丘陵地を石塁、土塁、切岸で区画されている
A	具志川グスク西崖葬墓地帯	海食崖に開いたいくつかの小洞窟に遺骨が残る
B	仲間グムイ上崖葬墓地帯	〃
C	シナグムイ崖葬墓地帯	〃
D	グスクヌチ崖葬墓地帯	崖や鍾乳洞に遺骨が残る、崖にある遺骨は現代の人たちのルーツにあたる
E	ナカベーヤ崖葬墓地帯	墓前にテラスを設け祭祀が行えるような施設を持つ墓陵もある
F	ヤージャーガマ	全長500mの鍾乳洞中 3ヶ所の開口部におびただしい遺骨があったのだが、僅か一部が残るのみである
G	ヤッチヌガマ	大きな鍾乳洞の開口部がオーバーハングした箇所遺骨が残る。現在でも一部の遺骨は祭祀の対象になっている
H	伊敷索グスクの崖中腹	崖の途中に開いた小洞窟群に遺骨が多数安置されている
I	堂ノ比屋	伝承 堂の比屋という人物の墓を中心として、彫り込み式の墓陵が点在する。墓面は半分ほど石積みになる
J	ナバル墓群	安山岩の岩盤上に方形のに珊瑚礁で積まれた墓陵が群立してあったが、新築されたため減少している
K	アンマーグスク	屹立する岩になっているが、ブロック状の摂理の岩肌は遠くから石垣のように見える。

番号	遺 跡 名 称	概 要
31	真謝貝塚	貝塚後期 住宅地造成のため遺跡の範囲をとらえることが困難なほど攪乱されている
32	謝名堂貝塚	貝塚後期・前期 前期タイプの土器は試掘を試みるが明確な包含層を確認するには至らない
33	銭田貝塚	貝塚後期 くびれ平底底部を持つ土器が主流
34	アール遺物散布地	貝塚後期？ 微細な土器片が表採されるが時期の判断が困難
⑥	登武那覇グスク	グスク 石塁が残るグスク内外から土器や輸入陶磁器が採取される
⑦	クニグスク	グスク 大正から昭和初期まで石塁が残っていたという。輸入陶磁器が表採される
⑧	メンダグスク	グスク 安山岩による石塁と土塁で囲われている。石塁の一部は昭和の初期に近くの山城池築堤の用材になる
⑨	山玉グスク	グスク 一部に安山岩の石積みが確認される
⑩	塩原グスク	グスク 山頂部を大小の安山岩で二重の石囲が巡らされている
⑪	与那嶺グスク	グスク 海岸に突出した円錐型の丘の頂上部を安山岩で不明瞭ながら二重の石囲いがある

久米島遺跡分布地図























































